

令和5年度

教育委員会定例会  
(12月)

令和5年12月11日(月)

鹿屋市教育委員会

# 会議日程

日時 令和5年12月11日（月） 午後3時  
場所 教育長室

## 1 開会

## 2 前回議事録の承認

## 3 教育長及び委員の報告

## 4 議事

なし

## 5 報告

- (1) 鹿屋市グローバル人材海外研修事業補助金交付要綱の改正について (P 2)
- (2) 教職員の人事異動について (P 3)
- (3) 鹿屋市グローバル人材海外研修（かのやこどもPR大使（第1期生））  
の決定について (P 4)
- (4) かごしまおいしいもの選手権の入賞について (P 5)
- (5) 第72回鹿児島県家庭クラブ研究発表会の結果について (P 6)
- (6) 鹿屋看護専門学校A日程入学試験合格者について (P 7)
- (7) 人権問題講演会について (P 8)
- (8) PTAフェスティバルについて (P 9)
- (9) 文化財体験活動（まが玉づくり・火おこし体験）の実施報告 (P10)
- (10) 令和6年鹿屋市二十歳のつどいについて (P11)

## 6 動議の討論等

## 7 その他

- (1) 鹿屋看護専門学校専任教員採用試験結果について

## 8 閉会

報告(1) 鹿屋市グローバル人材海外研修事業補助金交付要綱の改正について

(学校教育課)

(改正理由)

対象者の交通費については、旅行者への支払いとなる場合、保護者は、補助金受領後、旅行者に支払うなど支払い手続きが発生し、また一人でも支払い遅延が発生すると参加者全員に影響が及ぶ可能性がある。

そのため、保護者の支払いに係る手続きの軽減と確実な支払事務を達成するため旅行者支払い分を直接市が支払いすることができるように追加するもの。

鹿屋市グローバル人材海外研修事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱新旧対照表

改正後	改正前
<p data-bbox="174 667 1030 742">○鹿屋市グローバル人材海外研修事業補助金交付要綱 令和5年3月24日告示第48号</p> <p data-bbox="163 799 353 831">(補助対象経費)</p> <p data-bbox="118 842 1106 1007">第5条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、事業への参加に要する経費のうち、次に掲げる経費とする。<u>ただし、市が旅行者（旅行業法（昭和27年法律第239号）第6条の4に規定する旅行者をいう。）に直接支払う経費については、補助対象経費としない。</u></p> <p data-bbox="147 1023 622 1098">(1) 交通費 (2) その他市長が必要と認める経費</p>	<p data-bbox="1189 667 2045 742">○鹿屋市グローバル人材海外研修事業補助金交付要綱 令和5年3月24日告示第48号</p> <p data-bbox="1178 799 1368 831">(補助対象経費)</p> <p data-bbox="1133 842 2121 917">第5条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、事業への参加に要する経費のうち、次に掲げる経費とする。</p> <p data-bbox="1162 1023 1637 1098">(1) 交通費 (2) その他市長が必要と認める経費</p>

報告(2) 教職員の人事異動について

(学校教育課)

( 省 略 )

報告(3) 鹿屋市グローバル人材海外研修(かのやこどもPR大使(第1期生))について  
(学校教育課)

1 研修について

(1) 目的

鹿屋市グローバル人材海外研修かのやこどもPR大使として鹿屋市の魅力を海外に伝えるとともに、国際的視野を広げ、郷土の魅力を生かして主体的に課題解決に向けた行動を起こせる児童生徒を育成する。

(2) 期間(3泊4日)

令和6年2月19日(月)から令和6年2月22日(木)まで

2/19(月) 1日目	2/20(火) 2日目	2/21(水) 3日目	2/22(木) 4日目
○鹿児島中央駅発 7:45	○チャンダウバ <sup>カ</sup> インガル (小中高) 9:00 ・ 体験授業など	○国立台北教育大学附属学 校(小中高) 9:00 ・ 体験授業など	○桃園空港発 8:10 ○福岡空港着 11:15
○福岡空港発 12:15 ○桃園国際空港着 13:50	【午後】 ○国立台北教育大 ・ キャンパ <sup>ス</sup> ツアー ※ 鹿屋市PRプレ ゼンテーション経験	【午後】 検討中 ※ 市内散策研修 ※ 国立台北教育 大実習生案内	○博多駅発 15:00 ○鹿児島中央駅着 16:30 ○鹿児島中央駅解散 16:45 ※保護者送迎等
○チャンダウバ <sup>カ</sup> インガル (小中高) ・ 対面・歓迎会等	○国立台北教育大学附属学 校(小中高) ・ 対面・歓迎会等 ・ 体験授業等		
○ホームステイ先へ	○ホームステイ先へ	○ホームステイ先へ	

(3) 内容

- ・台湾(台北)での学校生活(授業・行事・給食等)の体験
- ・鹿屋市PRプレゼンテーション発表
- ・ホームステイにより台湾の家庭生活を経験及び異文化体験

2 かのやこどもPR大使 8人

学校名	学年	氏名
鹿屋小学校	6年	松下 美玖
東原小学校	6年	梅北 颯悟
吾平小学校	6年	中山 美翔
鹿屋中学校	1年	山内 里莉維
田崎中学校	3年	松尾 尊
串良中学校	3年	前村 梨央
串良中学校	3年	岩元 紗優
鹿屋女子高等学校	2年	山崎 梨沙子

3 同行職員及び教員 4人

鹿屋市教育委員会学校教育課長 新屋 公彦、指導主事 山内 誠  
鹿屋中学校教諭 池田 大恭、東原小学校教諭 牧 久美子

## 報告(4) かがしまおいしいもの選手権の入賞について

(学校教育課 鹿屋女子高)

### 1 目的・テーマ

かごしまの“食”交流推進計画(第4次)に基づき、県民の県産農林水産物・県内農林水産業への理解促進の取組の一環として、若い世代に郷土の食への関心を持ってもらうために、県内高校生等を対象に、県産食材を活用したメニューコンテストを実施するもの

なお、このコンテストの入賞作品は、協力企業等との連携による商品化を図り、幅広い情報発信に取り組むもの

### 2 主催 鹿児島県農政部農政課ブランド戦略室

### 3 結果 鹿屋女子高等学校 【入賞】

部 門	テーマ	作品内容	出品者
スイーツ部門	「地元愛」	地元の特産品である落花生とお茶を使用して「地元愛」を出した商品を開発したもの	鹿屋女子高等学校 生活科学科 3年5名

### 4 経緯

(1) 募集期間 令和5年9月8日 〆切

(2) 審査結果

入賞 18 作品 (総菜の部 9 作品・スイーツ部門 9 部門)

※応募数 県内16校 301作品(総菜の部132作品・スイーツ部門169作品部門)

### 5 マッチング交流会等の開催

日 時 令和5年11月1日(水) 午前10時から午後3時

場 所 かがしま交流センター(鹿児島市)

対象作品 18 作品(総菜の部 9 作品・スイーツ部門 9 部門)

内 容 作品の試食、  
入賞作品の各高等学校のプレゼンテーション

参加者 入賞学校関係者、協力飲食店、関係機関 報道 約80名

その他

「鹿屋女子高等学校 作品」

試食のアンケート投票で1位

### 6 今後の予定

商品化やメニュー化の方向で、関係団体等と検討中



【入賞作品】

報告(5) 第72回鹿児島県家庭クラブ研究発表会の結果について

(学校教育課 鹿屋女子高)

- 1 日時 令和5年11月9日(木)
- 2 場所 錦江湾高等学校
- 3 主催 鹿児島県高等学校家庭クラブ連盟
- 4 後援 鹿児島県教育委員会

5 研究発表

タイトル	ばらをいかしたまちづくり ～シティズンシップで広がる、協働の輪～
学校名	鹿屋女子高等学校
発表者	向井 美樹 (生活科学科 3年)
発表内容	私たちは、日頃からSDGsを意識して活動しています。その中で市立の学校に在籍する私たちの手で、魅力あるまちづくりに取り組んだ成果を発表します。「かのやばら園」の花がらを材料とし、色素を定着させる方法について、調査研究を行いました。 また、多くの人に鹿屋市を知ってもらうための取り組みを継続しています。私たちの活動自体も持続可能なものとし、地域の課題解決のために取り組んだ成果を報告します。

6 審査結果

県家庭クラブ連盟 最優秀賞 1校	鹿屋女子高等学校
県教育委員会賞	鹿屋女子高等学校
クラブ員賞	鹿屋女子高等学校

7 発表校

地区	発表校
南薩	指宿高等学校
熊毛・大島	奄美高等学校
鹿児島A・北薩	鹿児島東高等学校
曾於・肝付	鹿屋女子高等学校
鹿児島B	明桜館高等学校

8 参考

(家庭クラブ研究発表大会)

家庭クラブとは家庭科を学習する生徒によって構成される組織で、「創造」「勤労」「愛情」「奉仕」の4つの基本精神を活動の柱としてボランティア活動や交流活動を行っている。

今回、家庭科の学習を生かして、クラブ員が顧問の先生(家庭科教諭)の指導や助言を受けて調査研究を行った学習活動を発表したもの

報告(6) 鹿屋看護専門学校A日程入学試験合格者について

(学校教育課 鹿屋看護専門学校)

( 省 略 )



## 報告(7) 人権問題講演会について

(生涯学習課)

### 1 目的

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権問題に対する正しい理解と認識を一層深め、差別意識の解消を図るとともに、人権にかかわる問題の解決に資する。

また、人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上と指導力の強化を図るために、行政職員、社会教育団体の関係者、各種講座関係者、学校関係者等の研修の場とする。

併せて、市内小・中学生を対象とした人権ポスター・標語コンクールの表彰式を行う。

2 日時 令和5年12月2日(土) 10:00~12:00

3 場所 鹿屋市文化会館

### 4 内容等

- (1) 講師 高岡 里衣 氏  
演題 ヤングケアラーが抱える葛藤～「ありのまま」に寄り添うために
- (2) 対象 社会教育関係団体会員、学校・PTA関係者、一般市民
- (3) 参加料 無料

### 5 日程

- (1) 開場・受付 9:30~10:00
- (2) 人権ポスター・標語コンクール表彰式 10:00~10:15
- (3) 開会行事(教育長あいさつ) 10:15~10:20
- (4) 講演会(質疑応答含む) 10:20~11:50
- (5) 閉会 11:50~12:00

6 参加者数 466人

### 7 その他

人権ポスター・標語コンクール優秀作品展を、12月4日(月)から8日(金)の期間、市役所1階市民ホールで実施



ヤングケアラーについて、ご自身の体験を含めお話をいただきました。



ポスター・標語コンクールの特選受賞者13人を表彰しました。



当日は、会場にてポスター・標語コンクールの入賞作品の展示を行いました。

### 8 アンケート結果

- ・ 高岡さんを知ることができよかったです。講演中、何度も涙が出ました。
- ・ 自分の子どもがヤングケアラーになる可能性があるんだと気づかせてもらいました。今回の講演でいろいろな情報を知ることができよかったです。
- ・ ヤングケアラーへの問題に対して、とても関心が高まりました。自分も介護を3年以上していたので、共感するところもたくさんありました。
- ・ 多種多様な家庭がある中で、本当に支援を必要としている家庭に、適切な支援が入る仕組みが整っていくことを期待しています。

## 報告(8) PTAフェスティバルについて

(生涯学習課)

### 1 趣 旨

従来のPTA活動は、子どもたちの健全育成を図るため、保護者と学校が連携し行ってきたが、保護者の生活環境等の変化に伴い、負担感や不公平感を覚える活動として捉えられるようになった。

さらにここ数年にわたるコロナ禍での行動制限なども影響し、会員の活動に対する意欲が低下してきている。そこで「楽しい」と感じられるような事業を会員が協力して行うことで達成感を共有し、事業実施を通じて得られた「つながりや学び」を単位PTA活動への意欲向上につなげていきたい。

2 主 催 鹿屋市PTA連絡協議会

3 テーマ FUN! FUN! FUN!～PTAを楽しもう～

4 日 時 令和5年11月4日(土) 10:00～15:00 (少雨決行)

5 会 場 霧島ヶ丘公園 自由広場

6 対 象 鹿屋市内のPTA会員とその子ども

### 7 内 容

PTAの食品及び雑貨等の販売、ステージ出演、子どもの体験の場、学びの場(特別支援教育・読書推進)、高校紹介、高校生作品販売等

8 参加者数 5,000人

### 9 事業の実施風景



## 報告(9) 文化財体験活動(まが玉づくり・火おこし体験)の実施報告

(生涯学習課 文化財センター)

### 1 目的

市内のイベントにおいて文化財体験ブースを設置し、「まが玉づくり」及び「火おこし体験」を実施することで、当時の生活状況やもの作りの大変さや楽しさを学びながら郷土愛の醸成を図る。

### 2 開催日時及び場所

#### (1) 星のふるさと輝北まつり

○令和5年11月5日(日) 9:00~15:00 ○輝北運動場

#### (2) <sup>うましさと</sup>美里<sup>さい</sup>あいら農業祭

○令和5年11月12日(日) 10:00~14:30 ○吾平振興会館駐車場

### 3 参加者

#### (1) 輝北まつり 85人

○まが玉づくり 29人(子ども21人・大人8人)

○火おこし体験 56人(子ども37人・大人19人)

#### (2) 美里あいら農業祭 101人

○まが玉づくり 42人(子ども33人・大人9人)

○火おこし体験 59人(子ども35人・大人24人)

### 4 写真

【輝北まつり(まが玉づくり)】



【輝北まつり(火おこし体験)】



【あいら農業祭(まが玉づくり)】



【あいら農業祭(火おこし体験)】



## 1 目的

20歳になる青年を祝い励ますとともに、大人としての確固たる自覚と責任感をもって、これからの社会を生き抜き相互に連携・協力しながら、よりよい社会を築こうとする意欲を喚起する。

## 2 対象者

平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者  
参加者数見込み：800人（R5.10.1時点鹿屋市在住対象者数：828人）

※参考 令和5年成人式参加者数：731人（事前申込者数）  
令和4年成人式参加者数：751人（事前申込者数）

## 3 日時

令和6年1月4日（木） 14時30分～15時30分（受付は13時30分から）

## 4 場所

平和公園串良平和アリーナ

## 5 日程

受付 13:30～14:30

オープニングアトラクション 14:30～15:00

- (1) 鹿屋っ子クラブ挨拶
- (2) 演奏（鹿屋農業高校 和太鼓部）
- (3) 記念制作映像
- (4) ビデオメッセージ等
- (5) 行委員長あいさつ（原口 美宏）

式典 15:00～15:30

- (1) 開式のことば（船隈 仁）
- (2) 国歌斉唱
- (3) 式辞（市長）
- (4) 祝辞（森山議員、花牟礼議長）
- (5) 記念品贈呈（市長→代表者（前原 佳乃））
- (6) 二十歳の誓い（船倉 胡桃、鞍掛 華）
- (7) 閉式のことば（船隈 仁）

## 6 主催 鹿屋市・鹿屋市教育委員会・二十歳のつどい実行委員会

## 7 令和5年からの変更事項

- ・事前申込制及び当日受付を廃止
- ・録画配信を廃止
- ・来賓を中学校卒業時の担任にも依頼

## 8 記念品

PVCカバーノートA6（付箋付）

※ 紙袋に記念品及びパンフレット等を入れた状態で配布。